

第43回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所るびなす

開催日時：令和元年年 11月30日(土) 14:00～

出席者：自治会長・目黒様，民生委員・大嶋様，地域包括支援センター山潟・小石様

看護小規模多機能ご家族・本間様，和田様，高橋様・早川様・小出様

法人代表・斎藤先生，法人総務・物江

看護小規模ご利用者・吉田様・田中様・永井様・大越様・高橋様

看護小規模職員・小林・岩村・太田・丸山・田口・玉木

・今回は、年一回の家族交流会と併せて土曜に開催させて頂きました。

1、斎藤先生より挨拶

- ・看護小規模多機能は、医療も加わり、地域の見守りも役割もあり、一事業所で通い、泊まり、訪問ができ、利用していない時間も24時間365日、見守りができる場所として、国で大事なものとして認められています。地域ともつながっていく為に、情報交換できるよう運営推進会議が義務付けられています。今日はいつも利用してどうか、地域の相談窓口としてつないでいく役目もあるので、ぜひお話し下さい。

2、ご利用者現況報告

○登録利用者数

○曜日別利用者数

訪問では、食事のお届け，掃除，洗濯，買い物，血圧測定，服薬確認，軟膏塗布など、それぞれ生活に必要な部分を支援している。

3、活動報告

○行事，日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告

4、サービス評価の説明

- ・職員が自己評価することで、振り返りの意識付けを図るもので、現在は個々の自己評価を終え、職員同士の意見交換をしたところです。今月中に事業所評価としてまとめ、皆さんから目を通していただき、運営推進会議で評価いただくようになりますので、ご協力をお願いします。

5、今後の予定

6、ご意見等

- ・地域の方から沢山関わって頂いている。自治会としても一緒にやっていけるものはやっていきたいと思っている。

- ・大雨，台風など、大きな問題である。連携し情報交換しながらやっていきたい。先日コミ協で、るびなすの畑や草取りできる方がいたらと宣伝したところ、いくつか手が上がっていた。
- ・台風 19 号の信濃川増水により、長岡の小規模多機能は避難をしたとのこと。地域と連携し、連絡など、体制は考えていかなければならない。
- ・地域の資源があるのでネットワークなどで情報交換していきたい。福祉避難所の指定を受けると援助物資が届くが、最初にまず一次避難所に行かないといけない。るびなすは福祉避難所ではないが、地域の中で困った方を積極的に受け入れ、指定を受けていなくても集まれる場所にしたい。
- ・活動報告の動画の中で、以前関わった方が、良い表情をされていたのが印象的だった。
- ・いきがいは日本語しかない。良かったと思えるように、いかにいきがいを提供できるか。その人が幸せであったかが大事。

～交流会～

るびなすの畑でできたさつま芋を、スイートポテトと焼き芋にし、皆で試食する。畑を作って下さった栗山様も参加して下さい、さつま芋作りのお話をして下さった。